

市民にわかりやすい市政の 実現をめざします



このたびの市長選挙におきまして、多数の市民の皆様からご支持をいただき、新「佐伯市」の初代市長として市政の重責を担うこととなりました。今、あらためて責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いです。市政の執行に当たりましては、「市民にわかりやすい市政の実現」をめざして、誠心誠意、力の限り努力していく所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、「市民にわかりやすい市政の実現」のためには、市民に積極的に情報を公開し、透明性を高めるとともに、情報を共有することにより市民の

政治参加を促すことが必要です。住民一人一人が市政に参画し、全ての人たちが有権者としての自覚を持たなければ財政危機というこの難局は乗り切れません。

私は、この「市民にわかりやすい市政の実現」のために次の三つの柱を政策の基本とします。

一、タウンミーティングの開催

市内各地区で、市と住民との懇談会「タウンミーティング」を開催します。

タウンミーティングでは、市が計画しているおもな事業の内容をお知らせするなどし、市の施策にできる限り市民の

意思を反映できるように努めます。

二、事業予算の公開

市の各事業が予算化された段階で、その内容を市民の皆さんにお知らせするように努めます。

そのことにより、真に住民が望む市政運営がされているか常に検証できる体制を作り、予算執行の透明性を高めます。

三、地域審議会の活用

市長の諮問機関である、旧市町村ごとの「地域審議会」を、市民の意思をくみ上げ、さらには市長の考えを住民に伝え

ていただく「市政と市民との橋渡し役」として活用を図ります。

以上により市政への市民参加の促進、民意を重視した「ボトムアップ」の市政をめざします。

市政の執行にあたりましては、今日まで永年にわたり培った企業家の視点で行財政改革を行っていかうと考えています。しっかりとした財政基盤の再建は、まちづくりの基盤です。企業家二十五年の経験を活かしながら、「費用対効果」投資に見合う成果が得られるかを重視し、「民間でできることは民間で」という立場で行財政改革を行っ

ていきます。

そのためには、NPO(非営利団体)の積極的な活用と具体的な数値目標を掲げた行政改革プランの策定に取り組みます。そして市民が未来に夢と希望を抱き、安全・安心に暮らしていけるまちづくりをめざしていきます。

これから四年間、市民の皆様と行政が一体となって、まずは公約に掲げました諸課題の早期実現を図っていきたくと思っています。市勢発展のために全力を尽す覚悟です。市民の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。